

「北九州SDGs登録制度」申請書

北九州市長 様

所在地 北九州市小倉北区吉野町11-15-301

団体名 株式会社RAID

代表者 宮原 寿光

「北九州SDGs登録制度」について、関係書類を添付の上、下記のとおり申請します。

団体概要

(ふりがな)	かぶしきがいしゃ れいど	
団体名	株式会社RAID	
(ふりがな)	みやはら ひさみつ	
代表者氏名	宮原 寿光	
所在地	市内事業所	北九州市小倉北区 吉野町11-15-301
	主たる事業所	
事業概要	動画制作、WEB制作、ブランディング、マーケティング	
企業・NPO法人等の別	企業	
業種（企業のみ）	サービス業（他に分類されないもの）	
従業員数（企業のみ）	6～20人	
ホームページの有無	有	
ホームページURL	https://raidnet.jp	

連絡先






















担当部署	代表取締役
担当者	宮原 寿光
電話番号	093-932-9327
メールアドレス	miyahara@raidnet.jp

提出書類

- ・様式1：SDGs達成に向けた取組状況（チェックシート）
- ・様式2：SDGs達成に向けた宣言書
- ・様式3：地域課題への取組み
- ・【北九州SDGsクラブ未入会の場合】クラブ参加登録申込書（電子申請可）

SDGs達成に向けた取組状況 (チェックシート)

企業名 株式会社RAID

No.	チェック項目	分類	関連する認定・表彰制度 取得していれば「具体的な取組内容」の記載は不要です	関連する主なゴール・ターゲット	具体的な取組内容	最も関連性のあるゴール・ターゲット	最も関連性のある「北九州市SDGs未来都市計画」の指標や取組
1	温室効果ガスの排出を抑制するため、エネルギーの使用状況の把握或使用効率の改善、再生可能エネルギーの利用などに取り組んでいる。	環境 (CO2削減)		 7.2	<ul style="list-style-type: none"> 照明の一部LED化および部分消灯、エアコンの設定温度を暖房21℃、冷房28℃にし、クールビズ・ウォームビズを推奨し、通年1割の電気代削減を目標としている。 	ゴール	指標
				 13.3		ゴール13	環境 (1) ②
2	事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行っている。 3R (リデュース、リユース、リサイクル) を実施するなど、循環型社会の構築に取り組んでいる。	環境 (廃棄物削減)		 9.4	<ul style="list-style-type: none"> 古いカメラの部品の再利用。 コピー用紙の裏面の活用、紙媒体→電子化推進。 ゴミの分別を徹底しており、ペットボトル・段ボール等のリサイクルを行い、廃棄物削減に取り組んでいる。 	ゴール	指標
				 12.5		ゴール12	環境 (2) ②
3	事業に伴う調達 (原材料、部品、資材、サービス、使用する設備や事務用品等) について、環境負荷や人権などに配慮している。	環境・社会 (サプライチェーン管理)		 10.2	<ul style="list-style-type: none"> 社会や環境に対しても長期的にプラスになるように、電力をサステナブルエナジーからの調達に切り替え、環境に配慮した調達が心がけられている。 	ゴール	指標
				 13.3		ゴール13	環境 (1) ②
4	商品やサービスの安全性を担保する体制を整備すると共に、品質の向上や新たな技術の開発等に取り組んでいる。	経済・社会 (技術向上)		 8.2	<ul style="list-style-type: none"> 映像作成の技術向上すべく、外部研修に積極的に参加し、地域企業のPV作成の品質向上を図り、地域企業の活性化に繋がるようブランディング支援を行っている。 従業員の講習費用・資格取得費用は会社にて負担し、技術力向上に力を入れている。 	ゴール	指標
				 9.5		ゴール9	経済 (1) イ
5	環境に配慮した商品やサービスの開発や、社会課題の解決につながる商品やサービスの提供に取り組んでいる。	環境・経済・社会 (商品開発)		 7.2	<ul style="list-style-type: none"> 取引先のPV作成 (ブランディング支援) により、地元企業の環境配慮等のPRも行い、間接的に社会課題解決に繋がる取組を行っている。 	ゴール	指標
				 9.4		ゴール13	環境 (1) ②
6	長時間労働の防止、テレワーク等の多様な働き方の導入など、良好な労働環境の整備に取り組んでいる。	経済・社会 (労働環境整備)		 3.4	<ul style="list-style-type: none"> フレックスの活用、時間有給の活用を推進。 リモートワークの推進 (週2日出社、3日テレワーク)。 グループウェア・社内チャットを活用し、従業員の意見を拾える仕組み作りを行っている。 	ゴール	指標
				 5.5		ゴール3	社会 (3) ①
7	年齢、性別、国籍、障害の有無等による不当な差別を防ぐ体制の整備等により、女性活躍など、多様な人材が活躍できる環境の構築に取り組んでいる。	社会 (ジェンダー平等)		 5.5	<ul style="list-style-type: none"> 雇用形態、国籍、性別、年齢等に関わらず、就労の機会を提供している。 適材適所を励行し、各人の力の発揮できる業務につけるように配置している。 	ゴール	指標
				 8.8		ゴール8	経済 (2) ③
8	セクシャルハラスメントやパワーハラスメント、マタニティハラスメントなど、あらゆるハラスメント行為を防止するための体制を整備するなど、良好な職場環境の構築に取り組んでいる。	社会 (ハラスメント防止)		 5.1, 5.4	<ul style="list-style-type: none"> 就業規則にハラスメントの項目を記載している。ハラスメントの外部研修にも参加し、意識付けを行っている。 定期的に各人と面談実施、社内チャットにて、すぐに報・連・相ができるようにしている。 	ゴール	指標
				 8.8		ゴール5	社会 (1) ②
9	疾病予防や早期発見、良好なメンタルヘルスの維持など、従業員の健康維持に取り組んでいる。	社会 (健康経営)		 3.4	<ul style="list-style-type: none"> 全社員の健康診断の実施。社内禁煙による健康促進。 新型コロナウイルス他疾病予防や早期発見のため、マスク着用、消毒液の設置を設置。 	ゴール	指標
				 8.8		ゴール3	社会 (3) ①
10	全ての従業員にスキルアップのための研修等の機会を提供すると共に、社会に役立つ情報の外部への発信やインターンシップの受入れなど、社内外にわたる人材の育成に取り組んでいる。	経済・社会 (人材育成)		 4.4	<ul style="list-style-type: none"> 各人の能力開発のため、外部研修に参加し、キャリアアップを図っている。 各種資格取得、セミナー等の受講推進。受講費については会社負担で行っている。 OJT/OPJTを励行し、各自の能力の平準化を図っている。 	ゴール	指標
				 8.2, 8.6		ゴール4	経済 (1) ②
11	反社会的勢力の排除、汚職や贈収賄・不正競争行為の防止など、法令を遵守する体制を整備している。	社会 (不正防止)		 16.1, 16.3, 16.5	<ul style="list-style-type: none"> 反社会的勢力に対する基本方針を策定し、従業員および社外に周知している。 汚職・収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知徹底している。 	ゴール	指標
				 13.1		ゴール16	社会 (2) ウ
12	自社のSDGsの取組をマネジメントする担当者や担当部署を設置し、CSV (※) などを適切に推進すると共に、災害時等の事業の継続や事業承継など持続可能な事業経営に取り組んでいる。	経済・社会 (持続可能性)		 11.b	<ul style="list-style-type: none"> 事故・災害の発生に伴う事業中断を想定し、従業員のテレワークおよび情報共有システム等を構築している。 SDGsを推進すべく、外部コンサルティングと協議しSDGs宣言書を策定。従業員全員でSDGsに取り組んでいく。 	ゴール	指標
				 12.6		ゴール11	経済 (4) ①
				 13.1		ゴール	指標
						ゴール11	経済 (4) ア

※CSV (Creating Shared Value: 共通価値の創造)
企業が社会課題に取り組む、社会に対して価値を創造することでビジネス (経済的な価値) を創出すること。

(様式2)

SDGs達成に向けた宣言書

宣言日 令和4年5月18日

団体名 株式会社RAID

私たちは、SDGsの内容を理解し、SDGsの達成に向けた方針及び取組を以下のとおり宣言します。

◆ SDGs達成に向けた取組方針等

当社は、「伝える力で人々を共感させ、世の中にいい循環を生み出します」というビジョンのもと、事業活動を通じて「持続可能な開発目標（SDGs）」の達成に貢献し、地域課題の解決および、持続可能な社会の実現に努めてまいります。

◆ SDGs達成に向けた重点的な取組

達成を目指す分野に「○」		SDGs達成に向けた重点的な取組	指標（KPI） ・ 目標値 ※目標値は、いずれかの目標年で設定してください。		最も関連性のある「北九州市SDGs未来都市計画」の指標や取組 ※どちらか一方のみの記載で構いません。
経済		電気使用量の削減への取り組み	指標 (KPI)	年間電気料金	指標
社会			目標値		環境 (1) ②
環境	○		2023年 (その他の場合) ()年	2021年 218,119円 ↓↓↓ 2023年 180,000円	具体的な取組
経済		健康寿命延伸に係る取組	指標 (KPI)	健康寿命延伸に係る セミナー受講者	指標
社会	○		目標値		社会 (3) ①
環境			2030年 (その他の場合) ()年	2021年 0人 ↓↓↓ 2030年 5人	具体的な取組
経済	○	市内大学生の長期インターンシップの実施	指標 (KPI)	新卒採用数	指標
社会			目標値		経済 (2) ③
環境			2030年 (その他の場合) ()年	2021年 0人 ↓↓↓ 2030年 2人	具体的な取組

記載について

- 「SDGs達成に向けた重点的な取組」は、3つまでご記入できます。
- 必ず全ての分野（経済・社会・環境）の達成を宣言してください。
(1つの取組みで3つの分野を達成しても、複数の取組みで3つの分野を達成しても構いません)
- 指標（KPI）は、原則として数値目標を記載してください。

地域課題への取組み

団 体 名 株式会社RAID

私たちは、地域課題の解決を通じてSDGsを達成するため、北九州市の取組みに参加しています（今後、参加します）。

取組名	具体的な取組内容
2 【SDGsクラブプロジェクト】 北九州のまちを美しく！プロジェクト	社内でメンバーを募って定期的な清掃活動に参加します。【2022年10月取組開始予定】

記載について

- ・参考「企業等が参画可能な取組一覧」の中から、現在取り組んでいるもの（今後取り組むもの）を少なくとも一つ選択し、具体的な取組内容を記載して下さい。
- ・これから取組みを始める場合は、選択した取り組みの担当部署に連絡をし、所定の手続きを済ませた上で本書を提出して下さい。
- ・参考「企業等が参画可能な取組一覧」以外で、貴団体が自主的に行っている取組みについても、併せて記載いただいても構いません。